

◇ ZEH（ゼッチ）って何？ ◇

現在、政府は2020年度に新築住宅の半分以上をZEH（ゼッチ）にする目標を立て、様々な施策を講じています。

ZEHとは、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの略で「外皮の断熱性能等を大幅に向上させつつ、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持し、大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを導入することで、年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロとする事を目指した住宅」と、経済産業省のホームページに記載されています。

要約すると、しっかりと断熱をして省エネ化をはかり、使う設備（照明や冷暖房、給湯、換気など）にはエネルギー効率の高いものを選択します。

それでもかかる光熱費すべてを、太陽光発電などの再生可能エネルギーで賄う事の住宅を「ZEH」と定義づけています。

◇ ZEHの落とし穴 ◇

住宅販売会社等の広告では、「光熱費ゼロの家」とのPRが多くなりました。気を付けなければいけないのは、ZEHとはあくまでも定められたエネルギーの基準値を「設計上クリア」でしている事であり、実際に支払う光熱費が0円になるわけではありません。

降雪地では、太陽光パネルの上に雪が積もると発電しない場合もあります。日当たりなどは立地ロケーションで大きく変動します。「**ZEH＝光熱費0円ではない**」ということをしかりと認識する必要があります。

ZEHであるかどうかを問う前にまずは、本当にその家が快適で経済的なかどうかを検討することが大切です。

仮に光熱費0円を目指すのであれば、電力会社の買い取り価格が非常に重要となります。この買い取り価格も年々下がっているため、光熱費0円を目指すには、家の性能と合わせて、太陽光発電などの発電効率や買い取り価格もしっかりと考慮しなくてはなりません。

決してZEHを否定しているのではなく、ZEHは良くも悪くも誤解を生みやすいので、しっかりと中身を把握しておく必要があるということです。

◇ 快適で経済的な家とは ◇

昨今は、2020年の断熱義務化やZEHなど、日本の住宅性能が見直され始め

ている事は、古くから住宅の性能を提案してきた私達の立場から、とても良い流れだと考えています。それに伴い、大手ハウスメーカーやパワービルダーもこぞって性能を持った商品を提供し始めました。

北海道などの寒冷地では断熱気密は当たり前で、技術や考え方も浸透してきています。その他の地域でも2020年を境に、強制的な断熱化が義務付けられることとなります。

20年以上前、高断熱高気密の住宅工法が次々と誕生し、全国的に普及した時期がありました。しかし、それは一時的な流行りで終わり、寒冷地以外では衰退してしまいました。

我々もその時期に全国展開を始めていたので、良く理解をしているのですが「高気密高断熱は冬暖かいけれど夏は暑い」とされてしまいました。

当時、暖房は蓄熱暖房器と言われる深夜電力を活用した機器が使われ、冷房は当然エアコンを利用します。蓄熱暖房機は蓄熱されるので止めることができますが、エアコンは止めることができます。

高断熱高気密の場合、冷暖房は止めない方が経済的なのですが、その認識がないためエアコンを止めてしまい、「夏は暑い」となります。

その結果、本州の高気密・高断熱住宅は衰退した時期がありました。

「ファースの家」はエアコンの配置や使用法を工夫し、経済的に稼働させる方法を構築して、その時代を乗り切って参りました。

最近の住宅の断熱性能は飛躍的に向上したのは素晴らしいのですが、以前と同じ事象をおきないようにしなくてははいけません。

快適で経済的な家とする為には、性能を良くするだけでなく、その性能に見合った冷暖房機器を選択して正しく配置し、その性能に見合った使い方（住まい方）をすることが大切なのです。
(著ファース本部専務 福地 智)

幸太の知恵袋

風邪に鼻のうがい

風邪の予防には、毎日うがいをするのが一番。
でも、周りで喉の風邪や鼻の風邪が流行っているとき、風邪のひき始めには、いつものうがいじゃなくって、「鼻うがい」を試してごらん。効果抜群だよ。
薄い食塩水をね、手にとって、鼻から吸ってぐっと上を向くと、喉に入っていくから、それを吐き出す。つまり鼻と喉の間をうがいするんだよ。
そうそう、水道の水でやると、塩素がきつくてツーンとするから、食塩水のほうがいいんだよ。薬局に置いてある蒸留水に、塩を溶かして使うといいね。くれぐれも、飲み込んだり、気管に入れたりしないように気をつけるんだよ。